



2会場
で開催

【Meet Bamboo!】

The collection of Oita Art Museum & Contemporary Art meets Bamboo

大分は、国内唯一の公立竹工芸教育訓練施設を有し、素晴らしい竹の作家を輩出し続けています。大分市美術館では、これまで大分市で活動し、竹芸の分野ではじめて重要無形文化財保持者（人間国宝）に指定された生野祥雲斎の作品を中心に収蔵と紹介をすすめてきました。

今回、大分市美術館では、現在大分で活躍する竹工芸作家や竹を素材とする現代美術家6人を紹介します。6人は当館のコレクションの中から、それぞれ作品を選び、それらを創造の原点として新作の制作に取り組みました。当館のコレクションに刺激を受け、作家それぞれの創造性によって制作された新しい作品、そして作家の目を通して新たな魅力が引き出されたコレクションをお楽しみください。会場には、当館の竹の作品のコレクションとともに、河野祥篁、岐部笙芳、中臣一らによる作品も併せてご紹介いたします。

また、荷揚複合公共施設では、映像や立体を制作する美術家・諫山元貴と竹を材料に作品を制作する美術家・長谷川絢によるコラボレーション作品を紹介します。

丘の上のコレクションと竹との出会い
コンテンポラリーアートと竹との出会い

The Collection × Bamboo Art

丘の上のコレクションと竹との出会い 【Meet Bamboo!】 The collection of Oita Art Museum meets Bamboo

2025 休館日 10月14日(火)・20日(月)・27日(月)、11月10日(月)

10.3<金>→11.16<日>

大分県内在住の若手竹作家・美術家6人による、

大分市美術館コレクション作品からインスピレーションを受けた新作を展示



青柳慶子

Aoyagi Keiko

meets

岩澤重夫

Iwasawa Shigeo



池将也

Ike Masaya

meets

吉村益信

Yoshimura Masunobu

田能村竹田

Tanomura Chikuden



木崎和寿

Kizaki Kazutoshi

meets

生野祥雲斎

Shono Shounsai



近藤雅代

Kondo Masayo

meets

高山辰雄

Takayama Tatsuo



谷口倫都

Taniguchi Michito

meets

宇治山哲平

Ujiyama Teppei



長谷川絢

Hasegawa Kei

meets

荒川修作

Arakawa Shusaku

中西夏之

Nakanishi Natsuyuki

関連イベント

記念フォーラム

大分から世界へ／世界から大分へ

アートと竹が開くニューフロンティア

竹文化が切り拓く未来の可能性について、
専門家とともに語り合うフォーラムを開催します。

日 時：10月18日(土) 13:00～17:00

受付 12:00～

登壇者：コシノジュンコ氏、米山佳子氏 ほか

本事業指導者、同育成対象作家

場 所：大分市荷揚複合公共施設 6階 多目的大会議室

※ 詳細は、9月中旬に当館HPにてお知らせします。

池将也 ワークショップ

記憶を編む

ー竹と石でつくる関守石ー

自分で選んだ石と竹ひごを用いて、関守石をつくります。
ペーパーウェイトやオブジェとして飾ることもできます。

日 時：10月5日(日) (各回2時間程度)

①10:30～ ②14:00～

場 所：大分市美術館 研修室

定 員：各回20名程度

参加費：1,000円

応募期間：9月1日～19日



応募フォーム
応募多数の場合は抽選

木崎和寿 ワークショップ

はじめての竹編み体験

ー竹ひごでペン立てづくりー

竹ひごを使って、ペン立てを編みます。
初心者でも気軽に取り組みます。

日 時：10月12日(日) (各回2時間程度)

①10:30～ ②14:00～

場 所：大分市美術館 研修室

定 員：各回5名程度

参加費：1,500円

応募期間：9月15日～10月6日



応募フォーム
応募多数の場合は抽選



MEET BAMBOO
PROJECT
OITA JAPAN

大分発アートプラクティス発信事業-竹／キュレーションプロデュース

本事業は、「文化芸術基盤強化基金(クリエイター等育成・文化施設高付加価値化支援事業)」及び「独立行政法人日本芸術文化振興会」の助成により、大分における竹文化のユニークな価値と魅力を掘り起こすとともに、多彩な指導者のもとで、若手竹工芸作家が創作活動を行い、展覧会やフォーラムの開催、本事業の指導者のもと新作を制作する育成事業など、作家と作品の評価を国内外で高めていくための取組を多方面に実施します。

本事業指導者

コシノジュンコ

Koshino Junko

装苑賞を史上最年少で受賞後、パリ・コレクションに22年間参加。北京、NYなど世界各地でショーを開催し、国際的な活動を展開。デザイン展プロデュース、VISIT JAPAN大使、上海万博日本親善大使も歴任。オペラやスポーツユニフォーム、和太鼓TAOの衣装、花火デザインまで、多岐にわたる分野で活躍。数々の国際賞を受賞し、国内外で高く評価されるファッション界の第一人者。

米山佳子

Yoneyama Yoshiko

アートコンサルタント。国際芸術文化振興会展覧会プロデューサー後、MoMA, NY 勤務。1999年帰国後アートコンサルタントとして独立。MoMA リテール日本担当コンサルタントや TAI Gallery (現 TAI modern) リエゾンを行う。2013-2015年には大分県竹工芸海外販路開拓事業プロジェクトアドバイザーを務める。

中臣一

Nakatomi Hajime

竹藝家。2001年大分県立竹工芸訓練センター修了。竹藝家の本田聖流氏に師事し、2005年に独立。ポストン美術館、フランス国立ギメ東洋美術館など世界各国の美術館やギャラリーで作品を発表。また、リッツカールトン京都、フォーシーズンズホテル東京大手町などのアートワークも手掛ける。2024年第1回次世代バンブーアート賞コフレンド最優秀賞受賞。

宇都宮壽

Utsunomiya Hisashi

大分市美術館館長。
大分県立美術館学芸員としてコシノジュンコ展等多数展覧会を手掛け、2024年4月より大分市美術館館長に就任。

育成対象作家

青柳慶子

Aoyagi Keiko

熊本県生まれ。はじめ大分県立竹工芸訓練センターを修了。中臣一氏に師事。第19回全国竹芸展入賞、2017年国際北陸工芸サミット「ワールド工芸100選」に出演。2018年にパリ裝飾博物館の「ジャポニスムの150年」展に出演。現在は大分県由布市に工房を構える。

池将也

Ike Masaya

福岡県生まれ。大分県立竹工芸訓練センターを修了。中臣一氏に師事。第19回全国竹芸展入賞、2017年国際北陸工芸サミット「ワールド工芸100選」に出演。2018年にパリ裝飾博物館の「ジャポニスムの150年」展に出演。現在は大分県竹田市に工房を構える。

木崎和寿

Kizaki Kazutoshi

大分県生まれ。大分県立竹工芸訓練センターを修了。生野徳三氏に師事。第3回改組新日展で入選。第36回日本新工芸展で彫刻の森美術館奨励賞を受賞。第1回次世代バンブーアート賞のファイナリストに選出。2018年にパリ裝飾博物館の「ジャポニスムの150年」展に出演。現在は大分県豊後大野市に工房を構える。

近藤雅代

Kondo Masayo

栃木県生まれ。Webデザインの仕事を終り、大分県立竹工芸訓練センターを修了。高江雅人氏、岐部笙芳氏に師事。第55回くらしの中の竹工芸展で県知事賞を受賞。第67回、第68回、第69回日本伝統工芸展に入選。第1回次世代バンブーアート賞でトラディション優秀賞。第61回くらしの中の竹工芸展でグランプリを受賞。現在は大分県別府市に工房を構える。

谷口倫都

Taniguchi Michito

鳥取県生まれ。大分県立竹工芸訓練センターを修了。中臣一氏に師事。第43回日本新工芸展で彫刻の森美術館奨励賞を受賞。2017年国際北陸工芸サミット「ワールド工芸100選」に出演。現在は大分県竹田市に工房を構える。

長谷川絢

Hasegawa Kei

神奈川県生まれ。美術家。京都伝統工芸大学を修了。ペネズエラで竹の加工技術指導に携わる。改組新第4回日本美術展覧会に入選。第22回全国竹芸展で最優秀賞。第60回くらしの中の竹工芸展でグランプリを受賞。2018年「ジャポニスムの150年」展(パリ裝飾美術館)。2023年「跳躍するつくり手たち：人と自然の未来を見つめるアート、デザイン、テクノロジー」(京都市京セラ美術館)等に出演。現在は大分県竹田市に工房を構える。

Contemporary Art & Dance

コンテンポラリーアートと竹との出会い 【Meet Bamboo!】 Contemporary Art & Dance meets Bamboo

2025 コンテンポラリーアートと竹との出会い

10.3<金>→11.16<日>

現代美術作家と竹を素材とする美術家によるコラボレーション。

コンテンポラリーアートの空間展示をお楽しみください。

大分市荷揚複合公共施設1階 コモンスペース1

開場 10:00～18:00 〒870-0046 大分市荷揚町3番45号

観覧無料



Photo: IMAI Miharu

美術家

諫山元貴

Isayama Genki

1987年大分県生まれ、広島県在住。2009年に京都造形芸術大学を卒業。2011年に広島市立大学大学院修了。2014年には吉野石膏美術振興財団の在外研修でベルリンに滞在し、Studio Hague Yangのレジデンスに参加。「崩壊と複製」をテーマに、制御不能な出来事によって物質が変化する瞬間を映像や立体で表現している。水中で複製物が崩壊していく無音・無編集の映像作品シリーズで注目され、近年は埼玉県立近代美術館 (2023)、高松市美術館 (2022)、BankART KAIKO (2021) などで展示。作品は広島市現代美術館、ボモナ大学付属ベントン美術館、高松市美術館などに収蔵されている。

meets



美術家

長谷川絢

Hasegawa Kei

2025 コンテンポラリーダンスと竹との出会い

10.19<日>

展示作品や空間にインスパイアされ、

即興的かつ構成的なダンスを披露します。

大分市美術館 ※企画展観覧料が必要です。

時間 ①11:00～11:15/②12:30～13:30

大分市荷揚複合公共施設1階 コモンスペース1

時間 ③15:30～15:45/④17:00～18:00

コンテンポラリーダンサー 穴井豪 Anai Go



ダンスアーティスト・コンテンポラリーダンサー・振付師・ときどき俳優。大分県出身。東京都在住。高知大学理学院で在学中にダンスと出会い、卒業後に上京。2004年より北村明子主宰「Leni-Basso」に所属し、17カ国で舞台上に立つ中で「アジア人」「日本人」である自分を意識し始める。2009年よりフリーランスに転向し、ミュージカル「ロミオとジュリエット」や「スーパー歌舞伎II ワンピース」 「新版オグリ」など話題作の振付・出演を担当。2018年「国民文化祭・おおいた」開幕ステージの総合演出や、2021年「東アジア文化都市プロジェクトムジカと生きる」演出も手がける。映像・照明との融合にも挑戦し、空間性と身体性を融合させた作品づくりを続けている。



〒870-0835 大分市大字上野865番地

TEL.097-554-5800 FAX.097-554-5811

展覧会の詳細は大分市美術館

ホームページをご覧ください。➡

■交通案内

[バス]＝JR大分駅上野の森口(南口)バスのりばから

「大分きんバス」約6分

[タクシー]＝JR大分駅上野の森口(南口)から約5分

[車]＝東九州自動車道・大分ICから約10分

[徒歩]＝JR大分駅から約26分(のぼり坂があります)

